

事務事業評価資料

| | | | | | | | | | | |
|-------------|--|--|--------------|-------------------|---|-------------------|--------------|--------------------------|-------|--|
| 施策名 | 大気環境の保全 | | | 所管部局課名 | 農政環境部環境管理局大気課 | | | | | |
| 事業名 | 運送事業者への低公害車普及促進事業 | | | 担当者電話番号 | 交通公害係 3372 | | | | | |
| 事業目的 | 低公害車の導入を促進し、県民の健康の保護や生活環境の保全を図る。 | | | | | | | | | |
| 事業内容 | 低公害車と通常車両価格との差額（基準額）を国、県、市が協調して補助 対象者：県内の運送業者 補助対象経費：低公害車のバス、トラック 等の購入を行う際の通常車両価格との差額 補助率：国：1/2、県：1/2 等 | | | | 事業開始年度 | 平成14年度 | | | | |
| 事業に要するコスト | 区分 | 平成19年度決算額 | | | 平成20年度当初予算額 | | | 平成21年度当初予算額 | | |
| | 事業費 | (64,281 千円) 64,281 千円 | | | (66,625 千円) 66,625 千円 | | | (54,670 千円) 54,670 千円 | | |
| | 人件費 | 891 千円 | 従事人員 0.1人 | 847 千円 | 従事人員 0.1人 | 836 千円 | 従事人員 0.1人 | | | |
| | 総コスト (+) | 65,172 千円 | 従事人員 0.1人 | 67,472 千円 | 従事人員 0.1人 | 55,506 千円 | 従事人員 0.1人 | | | |
| 事業の目標 | 低公害車を平成22年度までに100万台普及させる。 | | | | [目標設定理由]平成15年度、自動車排出窒素化合物及び粒子状物質総量削減計画を策定し、目標を設定した。 | | | | | |
| 目標の達成度を示す指標 | 指標名 | 目 標 | | 19年度実績 | 20年度見込み | 21年度目標 | 達成率（％） | | | |
| | | 目標値 | 年度 | | | | H19 | H20 | H21 | |
| | 低公害車導入台数 | 1,000,000 | H22年度 | 879,564 (1 千円) | 919,100 (2 千円) | 959,650 (1 千円) | 88.0% | 91.9% | 96.0% | |
| 評価結果 | 必要性 | <ul style="list-style-type: none"> ・県民の健康の保護や生活環境の保全のためには、県民、事業者、行政の協働のもと、大気汚染の改善を図る必要がある。 ・このため、県では、本事業のほか、最新規制適合車等代替促進助成事業、制度融資、貸与事業、利子補給制度等を総合的に実施している。 ・本事業は、低公害車を大量に普及することにより、大気環境の改善に資するとともに、低公害車の価格を引き下げ、基盤整備の促進を図るために必要である。 | | | | | | | | |
| | 有効性 | <ul style="list-style-type: none"> ・低公害車の導入は確実に増加しており、目標を達成できる見込みである。低公害車を導入する事業者に補助することによって、目標達成のため効果のある事業が行われている。 | | | | | | | | |
| | 効率性 | <ul style="list-style-type: none"> ・国、県、市町との協調補助であり、対象経費等を国が定めているが、低公害車導入1台当たりコストは低水準で推移しており、効率的な事業が行われている。 | | | | | | | | |
| | 民間・市町との役割分担 | <ul style="list-style-type: none"> ・神戸市、姫路市、西宮市に使用の本拠を置く事業者に対しては、通常車両価格との差額を国、県及び市が補助している。（国：1/2、県：1/4、市：1/4） ・上記以外の市町に使用の本拠を置く事業者に対しては、同差額を国及び県で補助している。（国：1/2、県：1/2） | | | | | | | | |
| | 受益と負担の適正化 | <ul style="list-style-type: none"> ・低公害車と通常価格との差額（基準額）を国、県、市が協調して補助している。車両本体価格及び基準額を超える額については、事業者が負担する。 | | | | | | | | |
| 実施方針 | 方向性 | 新規 廃止 | 拡充 縮小 | 継続 凍結(休止) | 実施手法の見直し 延長 終期設定 | | | | | |
| | 実施手法の見直し内容 | 市町移譲 | 民間移譲 | 民間委託 | P F I | 負担割合変更 | 事務改善 | その他 | | |
| | 説明 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度、自動車排出窒素化合物及び粒子状物質総量削減計画を策定し、県内において低公害車（天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、電気自動車、メタノール車）低排出ガス車（京阪神七府県市自動車排出ガス対策協議会が指定する「LEV-7」）を平成22年までに100万台普及させることを目標としており、引き続き事業の実施を行う必要がある。 | | | | | | | | |